

教育 コーナー



今、学校では

『お正月遊びに挑戦！』
さかえ保育所

お正月休みが終わ
り、子どもたちの元気
な声と共にさかえ保
育所の2026年がス
タートしました。各ク
ラス、福笑いやカルタ
取り、手作り凧あげや
コマ回しなどのお正月
遊びを楽しんでいます。
1・2・3歳児たちも
大好きなアンパンマン
のカルタに挑戦中です。
キャラクターを見て
取ったり、ひらがなが
わかる子は文字を確認
しながら取っています。



『ミナミナハウス』のそれから
マリア幼稚園

昨年は木育活動が充実して
いた年でしたが、9月に森町
ハルキさんのご協力のもと、
森林環境税を使用した木育
活動として、道南スギを使っ
たミニログハウス作りを行
いました。渡島振興局林務課の
方々や木育マイスターがい
らして、年長中児が中心とな
って作り上げたハウスはその名
も『ミナミナハウス』。活動
後もスノコや椅子・テーブル
などを普段の遊びの中で作り
ながら園庭でたくさん遊んだ
後、冬になって園舎内に移築
しました。子どもたちの木育
活動はクオリティが上がり、
ノコギリやカナヅチの使い方
はお手の物です。



札が取れると「やった！」
と大喜び。1歳児の子が札を
取ると2・3歳児のお姉さん
たちが「すごいね」と頭を
撫でながら褒め、喜びを共感
している姿もあります。全て
の札を取り終えた後に「何枚
取れたかな」と自分の取った

札を「1、2、3」とワク
ワクしながら数える姿が可愛
いらしいです。日本の伝承遊
びを取り入れながら、文字や
数に触れる機会を増やし興味
や関心を深めていきたいと思
います。

今年のクリスマス会ではみ
んなで作った『ミナミナハウ
ス』が、聖劇の宿屋や劇遊び
のお家に変身。愛着のあるハ
ウスを劇に使えたことは、子
どもたちにとっても誇らしい
ことで、劇の場面を引き立て
てくれる立派な大道具となり
ました。この後も冬場は室内、
夏場は園庭とハウスは移築を
繰り返しながら子どもたちの
遊びが広がりをを見せてくれる
ことでしょう。2026年も
引き続き町の方々、地域の皆
様のご理解・ご協力のもと木
育活動を広げて参りたいと思
います。本年もよろしくお願
い致します。



写真で見る学校の様子

長万部高等学校



12月9日
中高合同職業説明会



12月16日
高校生による政策提言



12月23日 体育大会

長万部中学校



12月9日
3年生へ貫通石贈呈式



12月9日
職業説明会参加(2年生)



12月15日
赤い羽根共同募金贈呈式

長万部小学校



12月19日
赤い羽根共同募金贈呈式(児童会)



12月23日
八雲小とのオンライン交流会(5年)



12月24日
総合発表会(6年)

地域「みんな」で育てる学校をめざして

長万部小学校長 寒河江 孝之

明治生まれで「国民教育の父」とも呼ばれる教育哲学者・故森信三氏が提唱した「躰(しつけ)の三原則」をご存知でしょうか。

「躰の三原則」は、森信三氏の著書に明確な形で示されているわけではなく、講話録や教育現場での伝承を通して広く紹介されてきたものです。そのため、解釈や伝え方には多少の違いが見られますが、日常生活の中で身に付けたい基本的なマナーとして、学校だけでなく社会に出てからも人間関係を円滑にする大切な内容です。

【躰の三原則】

一 挨拶

自分から先に挨拶できるような子にすること。率先した挨拶の習慣を身に付けることで、円満な人間関係の土台を作ります。

二 返事

名前を呼ばれたら、はっきり返事ができるような子にすること。はつきりとした返事は、素直な心と行動力が身に付きます。

三 始末

履物を脱いだら必ず揃え、席を立つたら椅子を入れるような子にすること。自分の行動に責任をもち、けじめのある心を育てます。

先日、校外学習中の児童が、「躰の三原則」の一つである挨拶を地域の方に元気よくしている姿を見かけました。すると、その方が「頑張ってるね」と声をかけてくださり、子どもたちは嬉しそうに歩き出しました。ほんの数秒の出来事ですが、子どもたちにとっては「地域が応援してくれている」という大きな安心と励ましとなり、こうした地域の方々のやり取りが、子どもたちの心を育てる大切な学びにつながっています。

子どもたちは、学校だけでなく、地域、そして学校が互いにつながり、支え合うことで、子どもたちの学びはより豊かになります。長万部町には、自然や歴史、文化、人々の営みなど、子どもたちの学びを深める宝物がたくさんあります。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を中心に、地域の教育資源を生かした学習を広げ、子どもたちが「自ら学び、協働し、未来を創る力」を育めるよう取り組んでまいります。

子ども・保護者・地域・学校が「みんな」で手を携え、子どもたち一人一人に寄り添いながら、魅力ある学校づくりを進めていきますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。